



WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会会報

No.53 February 10, 2016

初笑いショート・スピーチ SUPPLEMENT

1月16日 [土] 午後、銀座ライオン渋谷マークシティ店で開催された、2016年新年懇親会の第三部「初笑いショート・スピーチ」を、発言者の手によって再現したものです。(掲載は到着順) また、長谷川真弓 MC に締め括りの総評を頂きました。

棚橋 征一

ことは申年であり、自分が申年生まれのこともあり、猿に関する英語のジョークにはどんなものがあるかなと思ひ、ウェブ検索してみました。

Q&A 形式で判り易いもの

(下記6点)を紹介させていただきます。初笑いの種になったら幸甚です。

Q: What do you call a monkey in a minefield?

A: Baboom!

Q: What do you call a monkey with a banana in each ear?

A: Anything you want, it can't hear you!

Q: What do you call an angry monkey?

A: Furious George.

Q: Why don't monkeys play cards in the jungle?

A: There are too many cheetahs there!

Q: Why shouldn't you get into a fight with a monkey?

A: They use gorilla warfare.

Q: How do you catch a monkey?

A: Climb a tree and act like a banana.



服部 陽一

さて、皆様は新年にあたっての抱負や決心を心の中でお唱えの事と思いますが、ある会社の部長と新入社

「君の今年の決心は何かね」

「私は今年一年を通して謙虚に生きようと思っています」

「それを一年間やり通すことは難しいが・・・」

「大丈夫です。私のように聡明で意志の強い男なら必ず出来ます！」

自惚れは七つの大罪の一つでもあり、教会でも牧師さんの説教によく出てきますが、ある日ある奥さんが教会に来て、牧師さんとこんな会話をしました。

「牧師先生、私は朝起きて手鏡で自分の顔を見ると、その美しさに惚れぼれして、暫く見とれてしまうのですが、こんなに自惚れの強い私でも天国に行けるでしょうか」

「大丈夫です。あなたのそれは自惚れではなくて誤解ですから」

ある中年の男も教会にやって来て、牧師さんとこんな会話をしました。

「昨日の説教では、人の過ちにつけ込んで金をとるなどということは、大きな罪だ、ということでしたが・・・」

「その通です」

「では、20年前に私がこの教会で結婚した時に払ったお金を返して頂けませんか」

相原 悦夫

A young woman had been taking golf lessons. She had just started playing first round of golf when she suffered a bee sting. Her pain was so intense that she decided to return to the

clubhouse for help and to complain.

Her golf pro saw her come into the clubhouse and asked, "Why are you back in so early? What's wrong?" "I was stung by a bee". She said.

"Where" he said. "Between the first and second hole." she replied.

He nodded knowingly, and said, "Then your stance is too wide." (安藤会員代読)

深澤 満穂

"Good afternoon , ladies and gentlemen. Many of my American friends usually begin their speech with a joke. But I don't. Because I am Japanese. Thank you."

これは guest に American businessmen がおられるとき有効だと思っています。

小池 温

このところ、フランス・米国・インドネシアなどで、IS (イスラム国家) のテロが頻発し、世界を不安に陥れている。そこで、

What's the difference between a wife and a terrorist?

We can negotiate a terrorist.

(妻とテロリストとの違いはなにか? テロリストとは交渉の余地がある)

テロリストより、もっとこわい人がいるらしい。

植田 良明

年頭所感:「呆けまいと 思い続けて また一年」
...呆けなくても緩んでいます。

My buttock feels asleep! I know I can hear it snoring!

I'm so old. I can laugh, cough, fart, and pee all at the same time.

「八十路入り 老いの足音 まだ聞かず」なに、ただ耳も遠くなっただけでしょう!

Three old guys are out walking. The first one says, 'It's windy isn't it?' The second one says, 'No, it's Thursday.' The third one says, 'So am I. Let's

go get a beer!"

Age does not always come with wisdom. It comes alone. です。

田上 悦子

A Lady in a Chadle



A beautiful wife in an Arabic country has a best friend, Mona. Her husband is glad to see his loving wife looks very happy after she spends time with Mona. In Arabic countries, ladies wear Chadle to cover their face and body except their eyes. Mona often came to their house to enjoy chattering and stayed with her in her room.

One day, in midnight, her husband went down to the kitchen to drink water, and he saw Mona drinking water.

He was so surprised to see Mona HAS BEARD !

岡田 茂富

好き勝手なことを言ってお終いにします。昨夜、木田元の『なにもかも小林秀雄に教わった』という題名の本を読みました。ご存知のように木田元は哲学の先生で、ハイデガーやメルロ・ポンティエーの日本における紹介者として有名ですね。久しぶりに読書の悦びを味わいました。この本の題名は、木田元の正直な胸の裡を表していると思いますが、実は私も同じ思いを懐いています。今日は、ニーチェとか、ドストエフスキーとか、と難しいことを言いませんが、骨董についても私は小林秀雄から学びましたので、それを少し披露したいと思います。

骨董について、偉そうなことを言っても、その人のその人が毎日使っている酒器を見れば、その人がだいたいど程度骨董を見る目があるかすぐにわかります。小林秀雄の骨董を見る目は疑いなく超一流だと言

えます。彼は最終的には、桃山時代の（たぶん、海揚り）備前徳利、李朝初期の井戸手の盃を所有し愛玩しました。それがどの程度のものかは、参考のため写真を添付しましたので、そこからうかがい知ることができると思います。



小林秀雄の孫、と同時に白洲次郎、正子の孫でもある白洲信哉は、骨董誌「目の眼」の編集長をしています。古備前徳利の写真は、彼の「骨董あそび」という本のしかるべきページを私のカメラで写し取ったものです。



ではお前はどんな酒器を使っているかって？ 李朝初期の鶏龍山徳利*と桃山時代の斑唐津*の盃で週1回の休肝日を除いて毎日飲んでます。（*はどんなものか知りたい方はグーグル画像して見てください）

中嶋 秀隆

Friendly Warning for Ladies

At the beginning of a new year, I have a friendly warning for the ladies.

Recently, Chinese tourists are going wild on a Shipping Spree (「爆買い」 in Japanese). Thanks to it, department stores and electronics retail shops are growing up their sales. Which is good.

I hear a story about a Chinese young lady, who visited Seoul, Korea. As you know, Korea is famous for its advanced technology of plastic surgery (整形美容). As part of her Shopping Spree, she took the plastic surgery, and it was very successful. Namely, she is now amazingly beautiful.

On her way back home, however, she was in trouble. At Seoul Airport, She was not allowed to go through the emigration gate. The official at the gate goes, “You are not the person shown by the picture in the passport.”

So ladies, when you go to Korea, don't change too much.

宮本 倫好

You know you're getting old when the birthday candles cost more than the cake.

舟崎 正敏

牧師さんといえば忙しいのは平日の夜、土日そしてクリスマスの季節です。

しかしこの頃近所の牧師さんは昼間から忙しそうにあちこちでかけています。本日私が散歩していたら牧師さんが忙しそうに先を歩いていて近所の高層マンションに入りました。そこには 30 人ばかりの人が集まっていて牧師さんの話を神妙に聴いていました。

どんな話をしているのか聴き耳をたてたところ、牧師さんはしきりに言っていました。

「杭改めよ」

最近ずさんな杭打ち工事が問題となっています。基礎工事は大切なのですが、目に見えない部分なので手抜きをする悪徳業者がいるようで困ったものです。基礎工事を丸投げし、かつ値切りすぎる元請けがいるのも問題です。

地震に伴う液状化現象で家が傾いた友人が傾いた家で寝ていると気分が悪くなると言っていました。傾いたマンションでは全戸の住民が寝ていて気持ちが悪くなるわけで、建て替えしかないのでしょう。

関係業者には是非“悔い改め”て貰いたいものです。

豊田 一男

必死で走った話2題

今日のお話はジョークではありません。実際に起こった、本人にとっては笑えない、しかし他の人は笑うかもしれないお話です。

その1 トイレ事件

つくばエクスプレスが開通する前は東京駅南口からつくばまで午前6時始発の高速バスで通勤していました。その頃地下のトイレは6時前には電気が点いてい

ませんでした。6時の始発に乗る前に必ず用を足す習慣でした。その日もいつものように真っ暗なトイレのすぐ入った所で便器の前に立つと何と先客が用を足していました。「何だ！バカやろう！」と彼は叫びました。びっくりしたとはこういうことだと後で思いましたが、その時はただただ一目散に階段を駆け上がって逃げました。幸い男は追っては来ませんでした。しばらく胸の鼓動は止みませんでした。

その2 エスカレーター事件

昔の職場の同僚のお通夜に途中まで普段の通勤で着ている背広にネクタイで出かけました。最寄りの駅で黒のネクタイに替えようと、駅構内の無料パンフなどが置いてある棚の所でネクタイを替え、エスカレーターで降りて行きました。下まで降りた途端香典を入れてある小さなカバンを置き忘れたことに気がきました。その時どうしたと思いますか？今思えば脇の階段を駆け上がった方が速かったのですが、何を思ったのか下りのエスカレーターを一目散に1段飛ばしで駆け上がり始めました。その時上には中年の男性がエスカレーターで降りてこようとしていました。しかし、私がいまにも血相を変えて走り上がってくるのを見て、一歩退いて呆気にとられていました。ネクタイを替えてカバンを置いた棚へ戻ると「ありました！」こんなに嬉しかったことはありません。

教訓： 足腰は鍛えておけ！

三田 弘美

皆様、三田弘美と申します。関西出身ですので“みた”ではなく“さんた”と読みますが、先月(12月)は“サンタさん”と呼ばれて出かけることが多かったです！どのように呼んでいただいても返事いたしませんので、ご安心ください。

冬ですので、雪のジョークを1つご紹介させていただきますませ。

A: Guess what happened when the snow girl had a fight with the snowboy?

B: What?

A: She gave him the “cold shoulder”!

Note: give someone the/a cold shoulder (よそよそしい態度を取る)

お粗末でした。

安藤 雅彦

言語のメタ使用はジョーク制作上の常套手段。

3例を挙げました：

1. 母親が子供に甘い父親に、「たまには子供たちにビシッと行ってください」と促す。父親は子供たちを正座させて、「ビシッ」と言った。
2. 小学1年生に「春の七草、言えるかい？」ときくと「は、る、の、な、な、く、さ」
3. A: Can you spell madam backward?

B: m, a, d, a, m, b, a, c, k, w, a, r, d

今井真由美

人生楽あれば苦ありと申しますが 昨年とはかく「大当たり」の今井です。

豪華ハワイ旅行が当たりラッキーと浮かれていたら スズメバチに頭を3か所刺され、猛烈な痛みで泣きながら鏡を見たら・・・頭皮が腫れあがったせいでフェイスラインがすっきりし10歳ほど若返った私が。(但し刺された場所が右寄りだったのが残念) 頭の痛みにも耐えながらもその日肉屋で買い物したらまた豪華牛肉の大当たり。

数日後の大雨の日 六本木通りを車で走っていたらパンと大きな音が！(やっぱり怖い街ね) と思いながら雨の日はハンドルが取られるなあとガタガタ言いだした車を走らせて帰ってきたら、なんとタイヤがぺっしょんこ。(タイヤに真っ直ぐ釘が刺さっていました) こんな大当たりの私—この波に乗ったら 宝くじもきっと大当たり?! 来年の表彰式で宝くじを頂けますよう頑張りますので皆様よろしく願いいたします。

小澤 正樹

教育的レトリック

こんなジョークを見つけました。

My son brought home his school report, which said, "He's doing well for a seven-year-old." The trouble is ... he is fourteen.

ジョークのツボは別として、同業者として僕にはこのコメントを書いた先生の苦勞が偲ばれます。(この場合はイヤミかもしれないけど) 通知表や調査書で生徒の人物評を書くのはなかなか大変なんです。優等生については問題ない。書くべきネタは豊富、むしろ何をカットするかが難しい。

問題なのは「影の薄い」生徒です。成績はぱっとしないし、部活はやめちゃった、体育祭にはいたはずだけど何をしていたかな、と頭を抱えます。苦しませずに「毎日着実に呼吸した」・・・とは書けませんしね。

さてここでクイズです。クラスに一人はいる自分勝手な問題児について、あなたが教師ならどんなコメントを書きますか？以前なら結構自由に書けたものの、最近では politically (educationally?) correct でなければなりません。

解答例：「確固とした自分なりの信念を持ち、周囲に流されず、意見を主張することができた。」

今度お子さんやお孫さんが通知表を持ち帰ったら、行間から担任の先生の真意を読み取ってみてはいかがでしょうか。教育的レトリックの見本市のようになっていませんか？

佐川 光徳

The fox knows many things, but the hedgehog knows one great thing. という one-liner があります。もとは、古代ギリシャのさる詩人の作品の一部ですが、人口に膾炙するようになったのは、ラトビアに生まれイギリスで活躍した社会思想家アイザイア・バーリン (1909-97) の著書によってです。

その大意は、「キツネはたくさんを知っているが、それらを統一的に把握する原理の存在には関心を示さない。一方のハリネズミは、それらに底流する統一的原理をあくまで追求しようとする」ということだそうです。

動物学上の事実かどうかは別として、バーリンは、人間の精神的なたらきが、この二種類に大別されるのでは、との問題提起をしています。例として挙げているのは、トルストイはキツネ型、ドストエフスキーはハリネズミ型というものです。

この二分法を JLC のメンバーに当てはめると、私は、「WE, JOKERS はほとんどキツネ型だなあ」と慨嘆したくなのですが、いかがでしょうか。

長谷川真弓

献身的な妻の私に夫は、「本当に君は天使のようだね。ただ初めに「ペ」がつくけど」。

才能豊かな妻の私に夫は、「こんなことまでできちゃうなんてすごいね。まったく隅に置くしかない」。

JLC は居心地のいい、啓発されることの多い空間。入会以来、宮本会長には感謝してもきれない。だから「府中のほうに足を向けて寝るしかない」。

MC の記——長谷川真弓

初笑いショート・スピーチ、今年も銀座ライオンで 2016 年キックオフの有意義な 2 時間でした。実体験あり、学術ものあり、日本語語呂合わせあり、英語ジョークあり、くすぐりありで、笑いでつながるバラエティの広さたるや驚きです。JLC はまさに佐川さんの言う狐族！納得です。植田さんのプレゼンに年齢と知恵は必ずしも比例しないとありましたが、JLC に関する限りは当てはまらないなと思いました。地上で過ごした時間はそのまま楽しさの深さと広さにつながる。誕生日ケーキにローソクをともしなくとも、すでに人格が光を放ってる。皆様楽しいトークありがとうございました。店内の喧騒のためせつかくのスピーチがかき消された昨年と違い、今年は皆様がしっかりと耳朶に刻印し、今年用の心のガソリン満タンにできたのではないのでしょうか。

最後に MC として、皆様それぞれが時間内にピシッと収めて発表して下さったことに心から感謝。

See you next year.